



ファイナルレポート
 国際電子部品製造機器専門見本市
 2021年11月16日～19日
 メッセ・ミュンヘン

2021年11月19日

実際に開催される見本市に勝るビジネスプラットフォームはない

Summary

- 70カ国からおよそ2万人が来場
- 全体の60%がドイツ以外からの来場者
- productronica は、コロナ禍にあってもなお、エレクトロニクス業界の各社が集結するプラットフォームとしての地位を堅持



Facts & Data

会期	2021年11月16日(火)～19日(金) 午前9時～午後6時(最終日のみ午後4時まで)
会場	メッセ・ミュンヘン
主催	メッセ・ミュンヘン(Messe München GmbH)
規模	全8ホール 88,000 m ² (2019年: 全8ホール 88,000 m ²)
出展企業	36ヶ国から894社(2019年:45ヶ国から1,541社)
来場者総数	70ヶ国から20,000人(2019年: 82ヶ国から43,697人)
主な出展品	半導体・ディスプレイ・太陽電池製造、材料加工、生産管理・物流技術、コイル製品、ケーブル加工技術、プリント基板・回路基材製造技術、部品実装技術、はんだ付け技術、製品最終加工、検査・測定技術、品質保証、各種オペレーティング機器、製造サブシステム、原材料、サービス、受託製造サービス(EMS)、マイクロ・ナノ製造技術
専用URL	www.productronica.com (英語/ドイツ語)

productronica 2021 は、11月16日から19日までメッセ・ミュンヘンの見本市会場において、厳格な衛生規則遵守のもとで開催された。出展者側は、COVID-19 感染からの回復者、ワクチン接種者、もしくはPCR 検査の陰性証明保持者が、また、来場者については COVID-19 感染からの回復者とワクチン接種者のみが見本市会場への入場を許可された。この厳しい制限のなか、36 カ国から 894 社が出展し、70 カ国から 2 万人が来場した。渡航制限が続いているにもかかわらず、来場者の 60%ドイツ以外の国からであった。

ドイツに続いて来場者の多かった国は、順にイタリア、フランス、オーストリア、スイス、ポーランド、イスラエル、スペイン、トルコ、イギリス、オランダである。主催社メッセ・ミュンヘンの副 CEO ラインハルト・ファイファーは、「今回メッセ・ミュンヘンの会場で実際に productronica が開催できたことを大変嬉しく思う。いまだ厳しい状況下にあるにもかかわらず、ドイツやその周辺国からだけでなく、イタリア、フランス、イスラエル、トルコなどからも多くの来場があったことから、今回の開催は予想をはるかに上回る成功と言える」と、喜びを表明した。また productronica のエキシビション・ダイレクターであるバーバラ・ミュラーは、「今回の成功は、productronica が業界をリードするまさに重要なビジネスプラットフォームであることを証明するものとなった」と付け加えた。



全出展者が同意: 今回の参加意義は以前にも増して高い

Kurtz Holding 社の CEO で productronica アドバイザリーボードの会長である Rainer Kurtz 氏は、「今回の productronica は、エレクトロニクス製造にとって肝要な見本市であるという位置づけを一段と高める重要な役割を果たした。顧客やビジネスパートナーにとっては、直接顔を合わせて会話ができるという見本市会場に勝るプラットフォームはない。企業は革新技術を絶えず発表してこそ生き抜いていける。その観点からみて、いまだに続いているパンデミックの状況下で開催できた今回の productronica は大成功であったと言える」と述べた。

ドイツ機械工業連盟、EMINT (Electronics, Micro and New Energy Production Technologies) 責任者である Thilo Brückner 氏は、「今回の productronica は、EMINT にとっても、会員企業にとっても大きな意義のある開催となった。ドイツ以外からの来場も非常に多く、来場者は皆、これまで以上に明確な目的をもって参加していた。これほどまでに大変な状況にあっても見本市の開催がいかに重要であるか、今回はそれを示した」と、満足の意を表明した。



Viscom 社の共同創設者である Volker Pape 氏は、「様々な制限があるなか、お客様と顔を合わせて当社の最新技術を直接紹介することができ、今回の見本市は大変有意義であった。来場者数は例年より少ないものの予想よりも多く、どのような状況にあっても、productronica が業界にとっての最重要見本市であることが証明された」と語った。

productronica イノベーションアワード

メッセ・ミュンヘンは、出版社 Hüthig Verlag とともに productronica イノベーションアワードを主催していて、見本市の初日にその授賞式が行われる。4 回目となる今回、この賞へ 60 件ものノミネートがあった。このノミネート数は、現在の不安定な状況下でも業界が日々イノベーションの創出に邁進し続けていることを実証している。

受賞者は次のとおり。

- ケーブル・コイル・ハイブリッド分野：Schleuniger 社
- 先物市場分野：Koh Young Europe 社
- 検査・品質分野：Alfamation 社
- PCB・EMS 分野：IO Tech 社
- 半導体分野：AP&S International 社
- SMT 分野：SMT Maschinen-und Vertriebs 社



見本市会場に付加価値：初の「productronica オンライン」

今回初めて登場した productronica オンラインは、出展者と来場者が直接コミュニケーションをとることのできるオンラインのプラットフォームであり、今回見本市会場に新たに開設され、見本市の会期 4 日間で 5,000 人がオンラインプラットフォームに参加した。

なお、オンラインプラットフォームは 11 月 8 日から 11 月 26 日までオープンしている。

次回の productronica は、2023 年 11 月 14 日から 17 日までドイツ・ミュンヘンのメッセ・ミュンヘン会場で開催される。

◆そのほか、出展者からの声は下記のサイトより

<https://productronica.com/en/press/newsroom/press-releases/detail/there-is-no-alternative-to-personal-contact.php>

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.productronica.com まで

productronica 2021 主な日系出展社 (50 音順)

(株)イトー、オムロン(株)、オリンパス(株)、(株)カイジョー、(株)キーエンス、(株)弘輝、(株)サキコーポレーション、JUKI オートメーションシステムズ(株)、(株)清和光学製作所、太陽ホールディングス(株)、(株)タムラ製作所、(株)ニコン、パナソニックコネクタ(株)、(株)日立ハイテクノロジーズ、(株)FUJI、ファナック(株)、武蔵エンジニアリング(株)、山一電機(株)、ヤマハ発動機(株)、ユニオンツール(株) ほか (50 音順)

SEMICON Europa 2021 主な日系出展社 (50 音順)

(株)アルバック、ウシオ電機(株)、樫山工業(株)、住友重機械工業(株)、京セラ(株)、(株)ディスコ、長野計器(株)、(株)ニコン、浜松ホトニクス(株)、パナソニック(株) ほか (50 音順)

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：メッセ・ミュンヘン 日本代表部
株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階
Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp
URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)